

兼山地区センターだより

兼山地区 令和5年10月1日現在 世帯数 530 世帯 人口 1,19人



令和5年11月1日 NO.68号

TEL59-2116 Fax59-2404

秋も深まり、朝晩はととても冷え込むようになりました。体調には気を付けて過ごしましょう。

今月の講座「美濃金山城跡見学会」は、兼山の歴史を知る講座です。この機会にぜひご参加ください。

秋の古城山 美濃金山城跡見学会講座

参加者募集 参加費無料

【参加要項】

日時 ① 11月19日(日)雨天時 11月26日(日)

② 11月21日(火)雨天時 11月22日(水)

両日9時出丸集合 12時終了

お好きな日程でお申し込みください。

講師 美濃金山城おまもりたいガイド

申込締切 11月17日(金)

申込方法 電話または、二次元コードでお申込みください。

内容 美濃金山城跡はなぜ国の史跡に指定されたのか？

金山越えの伝承を現地で確認

プレゼント

お茶1本、ペットボトルホルダー、クリアファイル

お問い合わせ 兼山地区センター TEL59-2116



講座の予定

お正月の寄せ植え講座

講師 小林 久美子先生

12月に行う予定です。詳細は、

12月号地区センターだよりをご覧ください。



今月のまちかど運動教室

9日(木)・30日(木)

11:00開始 場所 和室



【お知らせ】

「令和5年度 新春マラソン大会」は

中止となりました。主催 兼山体育振興会

【連絡所からのお知らせ】

11月14日(火)は、FAX回線工事のため、一部時間帯の証明発行ができませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

兼山地区センターまつり

川柳投稿作品のご紹介

全14句

兼山のセンターまつり最高だ!!

ホーピー

にぎやかなセンターまつりおめでとうma

秋になりセンターまつりもえまくるN

しょうがくせいセンターまつりたのしいなNF

笑い声今日は何の日まつりの日 沙久

秋の日の風光めいび兼山の スエコ

兼山の秋はいろいろ美しい KK

兼山は生まれた所世界一 リカコ

大事な場所これからもずっと私の居場所 ぱる

おばけにはお菓子渡して帰らせる のあ

食よくの秋はおいしいものがある 晴大

秋の山朝からみんなでくりひろい AY

何か書けお菓子をもらい何か書く MK

川柳も自分で書くとはずかしい MK



令和5年度 第6回 兼山地区センターまつり 10月29日(日)開催の様子

来場者、関係者のみなさん、ありがとうございました

ステージ発表



大道芸人ソウさん



開会式

展示・体験



イベント バザー



お楽しみ
抽選会

わが町散歩 ～兼山を訪ねて～ その 7

貴船神社（伝統的に正式な名称は貴船神社）

祭神 みずはのめのかみ 水波能売女神（水を司る神）

所在地 可児市兼山 327（宮町）



貴船神社の創建

はっきりと明記したものはありませんが、平安末期 1127 年（大治 2 年）土岐氏（当時可児郡地方を支配していた豪族）により創建され、山城国（やましろのくに）京都の貴船神社から勧請（かんじょう→分霊、分祀、分社）されました。兼山には、川湊があったことから木曾川の水運の安全を祈願し迎えられたと考えられています。当時は、湊の近くまで神社の敷地で、神社からは兼山湊が見下ろせたと思われます。

1538 年（天文 7 年）烏峰城を築城した斎藤大納言正義が厚く保護し、1598 年（慶長 3 年）に当時の金山城主森忠政により再建され、その時の棟札（むなふだ）が現存しています。

名称の文字について

現在の名称は「貴船神社」としていますが、伝統的に正式な名称は「貴船神社」です。1851 年（嘉永 4 年）兵庫県赤穂藩（あこうはん）10 代藩主森忠徳公の揮毫（きごう）による社額は「貴船社」と書かれており、昭和 48 年神社庁発行の認定証はじめ社内多くの表記も

「船」が使われています。その後変更登記の折に「船」と記してしまったのが「貴船神社」となった発端と考えられます。現在「船」は「船」の異体字で一般的には使われませんが、今でも「船」の字体を用いている神社はあります。



社額
森忠徳公揮毫の

郷社（ごうしゃ）の指定

明治 3 年、神社が国の管理下におかれ、貴船神社は近隣五ヶ村、兼山、伏見、比衣、錦織、伊岐津志の郷社と格付けされていました。（他に無格社、村社、県社などがある）。毎年の祭礼には各村の氏子総代が参列していました。貴船神社の入口の階段上の標柱に郷社の文字がありますが、新憲法下、政教分離令発布の指導的立場にあった当時の GHQ（連合軍総司令部）に気遣いコンクリートで文字が埋められています。日本中の神社に見られる歴史の跡です。現在の貴船神社は銀幣社に格付けされています。

祭礼

昭和初期 20 年頃までは、兼山鎮守の神様として毎年 10 月 18 日に町をあげて神事と祭りの行事が行われていました。各町内の氏子総代と名士が貴船神社まで行列し、神事に参列しました。魚屋町、本町、常盤町、盛住町の 4 町内は飾り鞍を乗せた神馬を神社まで引いて行きました。下町からは、山車（だんじり）が引かれ、笛太鼓で祭囃子を演奏しながら魚屋町までを往復し、宮町は獅子舞を出して全町内をめぐり、青年団が神輿（みこし）を担いで町中を練り歩き、全てが貴船神社に集まりました。境内には、多くの露店が出て、兼山の住民と近隣からの参拝客で大賑わいでした。現在祭礼は、毎年 10 月第 3 日曜日に行われ、神事は継続されていますが、多くの行事は廃れています。裏面につづく→



秋祭り武者修行（平成時代）

貴船神社の文化財

1595年（文禄4年）に城主森忠政が銘刀国光の太刀一振りを奉納しています。（兼山の戦国ミュージアムに展示されています。）また、1598年（慶長3年）に森忠政が社殿その他を再建したという棟札（むなふだ）があり、1757年（宝暦7年）朱塗りの鳥居、1777年（安永6年）不浄除け塀（不浄除けとは、蕃塀（ばんぺい）、目隠し門などともよばれる拝殿の前に位置する短い塀の事です。正殿を直視できないようにするためや、不浄なものの進入を防ぐために造られたと言われています）、共に約260年前に建造されたもので、このお宮で一番

古い建造物です。そして、赤穂藩10代藩主森忠徳公揮毫の社額「貴船社」が拝殿中正面にあり、朱塗りの鳥居の上にその書体で作られた社額が掲げられています。神社の横の大木、榎木（かやのき）がご神木で、可児市の指定文化財となっています。

兼山（加）消防組の歴史文化財
1889年（明治22年）町制が施行される以前、他に先駆け明治11年に兼山（加）消防組が創設され、貴船神社拝殿の中や外に当時の消防組の人たちの集合写真が奉納されています。消防組創設を記念して組員面々が、長さ3mにも及び絵画で描かれており、中には「ちょんま

げ」の隊員の姿もあります。伝統ある兼山の（加）消防の歴史資料で、貴重な文化財の一つとして大切に保護していく必要があると思われます。

現在の社殿

拝殿は、1879年（明治12年）に建てられ、本殿社塔は昭和初期に建造されたもので、拝殿の後ろにあります。本殿の後方には、昔名鉄電車が走っており、昭和初期に線路を敷く工事の際に本社塔が壊れたため、再建されたということです。

貴船神社の隣には、京都伏見稻荷から勧請した貴船稻荷大明神があります。



神事の様子

山梨句会 十月の兼題 柿・紅葉・渡り鳥・自由

一枚の紅葉の栞日記帳

老二人自慢の品で芋煮会

一群の揺れ華やかに秋桜

信濃路や柿たわわなる一里塚

柿熟るる婆好物にハイポーズ

名句読み柿好きになりにつけり

京の寺さままざまなりて紅葉彩

柿を挽ぐ空の碧さに手を伸ばし

柿を食ふはらから二人残りけり

奥村 公子

佐藤 笑子

瀬戸 町子

今泉 和子

今枝 洋子

廣瀬 信子

島田 紗代子

川合 淳子

金子 北陽

わいわい交流会の様子

兼山小学校

10月13日（金）



兼山小学校児童と地域住民の交流会が行われました。兼山かるたや、ゲームと一緒に楽しみました。



【兼山地区センターまつり】

なぞ解きクイズラリー答え **オンセン**

ご参加いただいた方、ありがとうございました。